内閣府

記　者　発　表　資　料

令和元年６月３日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

国道３２９号（中城村～西原町）の道路の計画の検討について皆さまのご意見をお聞かせください

国道３２９号（中城村～西原町）の道路の計画検討について、地域の皆さまや道路を利用されている方からご意見をお伺いし、道路計画に反映するためのアンケート調査及びヒアリング調査を行います。

〇調査期間：令和元年６月４日（火）～７月３１日（水）

〇調査内容：

・沿線地域住民や道路利用者等を対象に、対策案（ルート帯案）を検討していく上で、重視する項目や配慮する項目について意見を把握するために実施

〇調査対象・実施方法・実施期間：

調査区分	調査対象		実施方法	実施期間※
アンケート調査	地域住民の方	中城村、西原町（沿線地域）	全戸に直接配布により実施	6/17～7/31
		北中城村、与那原町（周辺地域）	無作為抽出後に直接配布により実施	6/17～7/31
	周辺企業		無作為抽出後に直接配布により実施	6/17～7/31
	道路利用者等		南部国道事務所ホームページに掲載	6/10～7/31
ヒアリング調査	関係自治体や関係団体、沿線企業者の方など		訪問等によりインタビュー形式のヒアリング実施	6/4 ～7/31

※　作業の状況により、アンケートの配布が前後する場合があります。

【問い合わせ先】内閣府　沖縄総合事務局　南部国道事務所
副所長　安次富　長一
【担当】調査第一課長　松川　剛
TEL　０９８－８６１－２３３６
URL　http://www.dc.ogb.go.jp/nankoku/

内閣府　沖縄総合事務局からのお願い

国道329号（中城村～西原町）の道路の計画検討に関する 第2回 アンケート調査

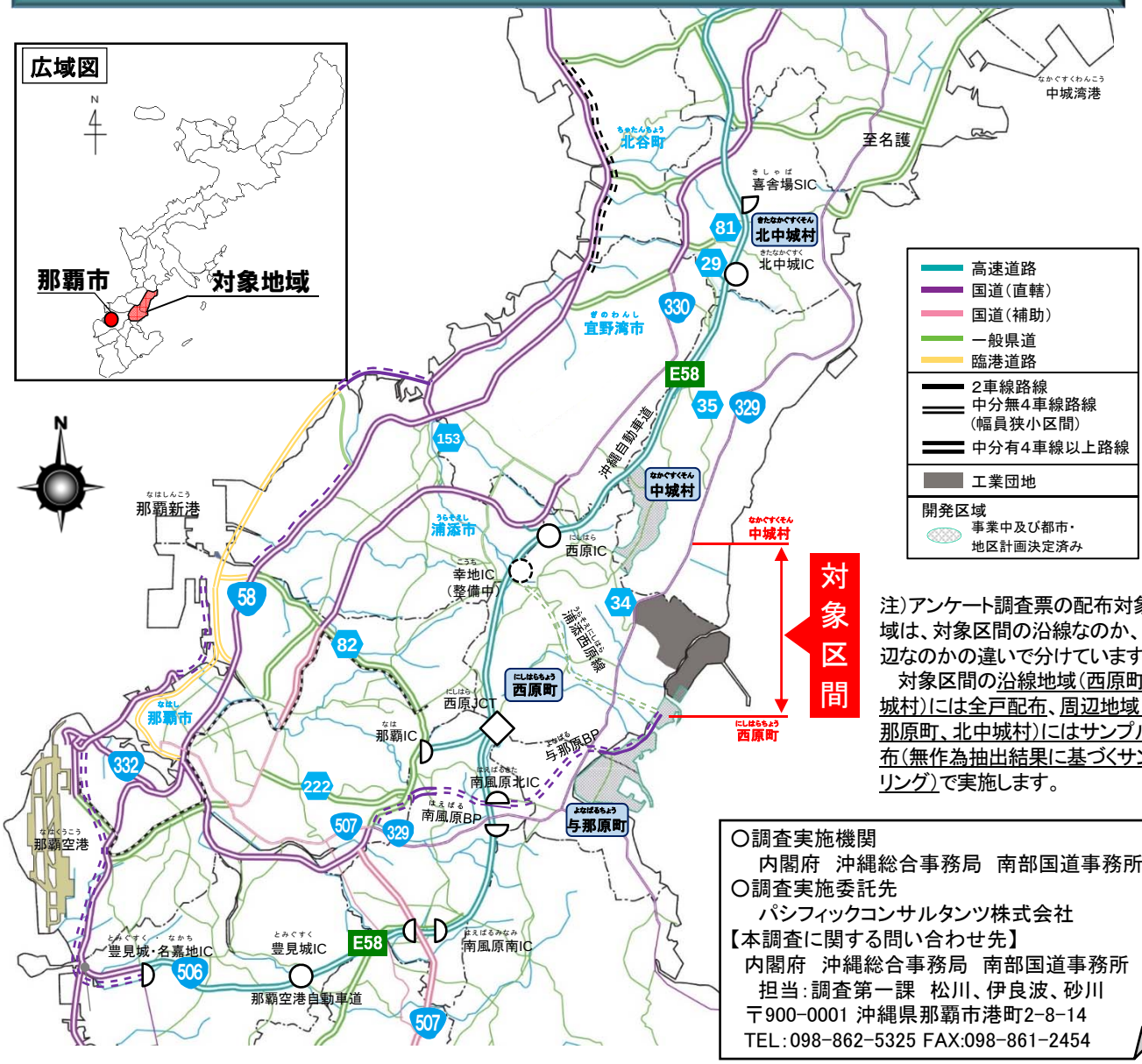
みなさまのご意見をお聴かせください

現在、内閣府沖縄総合事務局では、国道329号（中城村～西原町）の道路の計画検討を行っております。

今回のアンケートは、国道329号（中城村～西原町）の道路の計画検討を進めるにあたり、地域の皆様のご意見を伺い、生活に役立つ道路の検討をさせていただきたいと考えております。

アンケートにご協力いただきますようよろしくお願いいたします。
また、結果につきましては、集計してホームページ等で公表させていただきます。

検討位置図



注）アンケート調査票の配布対象地域は、対象区間の沿線なのか、周辺なのかの違いで分けています。

対象区間の沿線地域（西原町、中城村）には全戸配布、周辺地域（与那原町、北中城村）にはサンプル配布（無作為抽出結果に基づくサンプリング）で実施します。

○調査実施機関
内閣府　沖縄総合事務局　南部国道事務所
○調査実施委託先
パシフィックコンサルタンツ株式会社

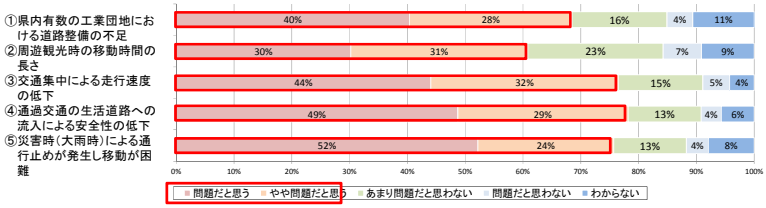
【本調査に関する問い合わせ先】
内閣府　沖縄総合事務局　南部国道事務所
担当：調査第一課　松川、伊良波、砂川
〒900-0001 沖縄県那覇市港町2-8-14
TEL：098-862-5325 FAX:098-861-2454

※本アンケートでお答えいただいた意見および個人情報は、統計的に処理し、住所や氏名等の個人の意見が特定されることはありません。
また、他の目的で使用したり、第三者に使用させたりすることも一切いたしません。

第1回アンケートの結果を以下のとおり整理しました。

交通課題

【全体】住民・企業・沖縄県民・観光客　　N = 4,854 （全体）



【アンケートの主な意見】

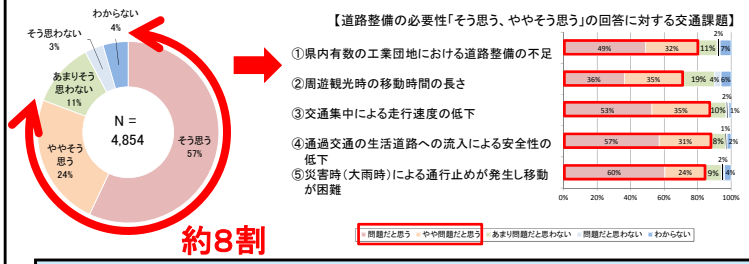
- 町内工業用用地の有意性を確保するためにも、国道329号バイパスの延伸を実現してほしい。
- 日常的な買い物・食事などで交通渋滞が頻繁にあり、移動に時間がかかることが多い。
- 中城～西原方向にむけて朝、夕方の渋滞を改善して欲しい。
- 国道の混雑時、抜け道として集落内を通行する方が多い。
- 駐車している車、右折車が非常に多くてそういった車をよけながら運転するので、とても気を使う。
- 大雨になると小那覇交差点と同様内間交差点も冠水し他の道路も乏しく、目的地に到達できない事がある。
- 大型工事車両等が多く通行し、排気ガス等地球環境、自然環境の点で大いに困っている。
- 大型トラックや工業団地からの大型車の行き来が多い中道路のデコボコがめだつ。

【ヒアリングの主な意見】

- 食品関連企業は、基盤整備がない現状では衛生管理の面から参入してこない。整備されれば拡大するはず。
- 観光資源はあるが連絡する道路がない。
- MICEが完成すると、国道329号（西原周辺）の渋滞がひどくなると思われる。
- 朝・タピーク時には、小那覇交差点の全方向で混雑している。バイパスが延伸して繋がれば渋滞削減の効果が発揮されると思う。
- 生活道路を大型車等が通過することで通学児童等の安全性が低下することが懸念される。
- 国道329号の小那覇、内間、兼久交差点付近及び県道38号の渋滞に伴い、現場到着や医療機関までの搬送に時間を要する。
- 周遊観光、生活、工業、商業用の道路使用が重なり、交通渋滞が発生している。
- 南北軸の交通動線が1つしかないことが課題である。
- ゲリラ豪雨による小那覇交差点の冠水がネックである。

道路整備の必要性

【全体】住民・企業・沖縄県民・観光客　　N = 3,829 （そう思う、ややそう思うと回答）



【アンケートの主な意見】

- 中城マリンタウン、MICE建設の完成に向けて早急な道路整備が必要と考えます。
- これまでの西側中心の道路整備から東海岸道路を整備しないと均衡ある発展は望めない。
- 329号と平行に走る沿岸の道路が整備されると通過交通と生活交通が分離され、生活がしやすいと思います。
- 工業団地内各社の物流にかかせない道路整備は企業の発展に最も重要な課題だと捉える。
- 災害時だけでなく、ちょっとした多雨でも、水がたまり、車の走行に支障がでる。

【ヒアリングの主な意見】

- 東海岸では、南北方向の幹線道路が1本しかないことから、よりよい道路交通環境になれば産業面にとって生産性向上に繋がる。
- 東海岸地域には、MICE施設の建設も予定されているため、新たなヒトやモノの集積・移動が想定される。新たな開発に対し、受け皿となる交通インフラのバランスが重要である。
- 現道を改良するのではなく、新たなバイパス道路を整備し、地域間を移動する大型車・バス等を現道から転換させる必要がある。
- 渋滞の時に道を選択できるバイパス整備が必要である。
- 総合的にみて、新たな道路整備が必要である。特に小那覇交差点の冠水による大幅な迂回を強いられることは問題である。

まとめ

○第1回沖縄地方小委員会で整理した地域の課題に対し、約6割以上が「問題だと思う」、「やや問題だと思う」と回答しており、利用者の実感と合致。

○道路整備の必要性について、「そう思う」、「ややそう思う」と約8割以上が回答。これらの道路整備に肯定的な回答者のうち、前述した地域の課題に対し「問題だと思う」、「やや問題だと思う」と約7割以上が回答。

○道路整備を行うことが産業支援、観光振興、渋滞緩和、防災機能の向上につながると期待している。

⇨ 政策目標を達成するための機能を有するルートを検討

ルート帯案の検討

○第１回アンケートにおいて「地域の課題」「道路整備の必要性」を確認できたことから、４つの「政策目標」を設定。

①産業振興を支援する道路ネットワークの強化
②周遊観光を支援する道路ネットワークの強化
③交通の円滑化
④災害時に強い道路ネットワークの確保

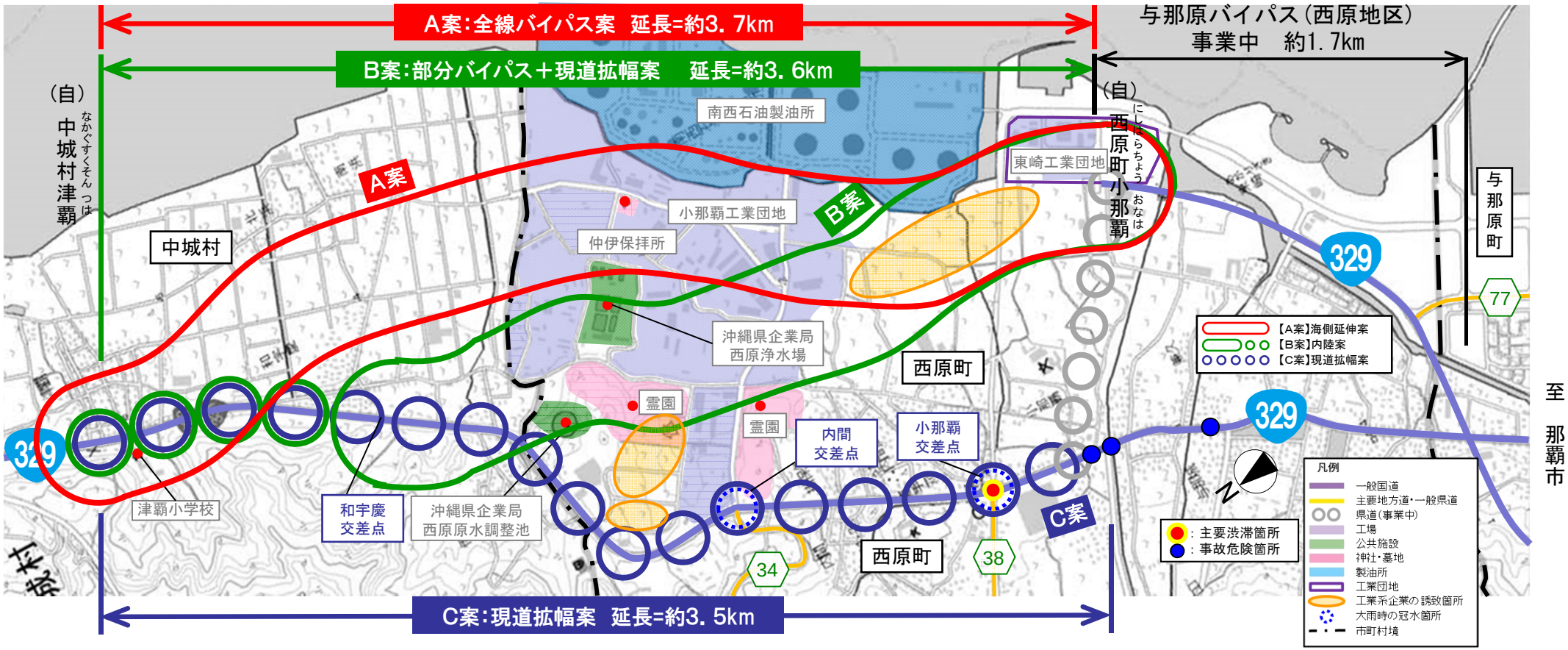
○政策目標を達成するための機能を有する道路整備の対応方針（ルート帯案)について複数のルート案を設定。

政策目標	①産業振興を支援する道路ネットワークの強化	②周遊観光を支援する道路ネットワークの強化	③交通の円滑化	④災害時に強い道路ネットワークの確保
ルート帯選定のポイント	・地域間及び物流拠点施設間をアクセスする道路ネットワークを形成できるか	・広域的な観光ルートを形成できるか	・小那覇交差点・内間交差点の混雑緩和に貢献できるか	・大雨時に冠水が想定される小那覇交差点・内間交差点を回避できるか

【その他】
・自然環境への影響は少ないか
・移転などに必要な家屋等が少ないか
・生活環境への影響（大気質や騒音）はないか
・事業費が大きすぎないか

バイパス案	現道活用 ＋一部バイパス案	現道拡幅案
【A案】 全線バイパス案	【B案】 部分バイパス＋現道拡幅案	【C案】 現道拡幅案

ルート帯案の検討



【特徴】国道329号の渋滞区間や災害・事故などの現道課題を解消、および工業団地へのアクセスを考慮し、以下の３案を検討する。

Ａ案：全線バイパス案　⇨　工業団地の海側を通過し支障家屋等を極力回避し国道329号に接続する案

Ｂ案：部分バイパス＋現道拡幅案　⇨　工業団地の内陸側を通過し国道329号に接続する案

Ｃ案：現道拡幅案　⇨　国道329号現道を活用し、道路を拡幅する案

ルート帯案の概要

評価項目		評価指標	【A案】全線バイパス案	【B案】部分バイパス＋現道拡幅案	【C案】現道拡幅案
			新規バイパス4車線整備	新規バイパス4車線整備＋現道4車線活用	現道4車線活用
			延長　約3.7km	延長　約3.6km	延長　約3.5km
政策目標	産業振興を支援する道路ネットワークの強化	物流拠点施設間のアクセス時間（中城港湾～小那覇工業団地）	・速達性が向上 （現況に比べて約7分短縮） （B、C案より短縮）	・速達性が向上 （現況に比べて約6分短縮） （C案より短縮）	・速達性が向上 （現況に比べて約4分短縮）
		物流拠点施設間のアクセス時間（那覇空港～小那覇工業団地）	・速達性が向上 （現況に比べて約17分短縮） （B、C案より短縮）	・速達性が向上 （現況に比べて約16分短縮） （C案より短縮）	・速達性が向上 （現況に比べて約13分短縮）
	周遊観光を支援する道路ネットワークの強化	主要施設間のアクセス時間（中城城跡～斎場御嶽）	・速達性が向上 （現況に比べて約9分短縮） （B、C案より短縮）	・速達性が向上 （現況に比べて約8分短縮） （C案より短縮）	・速達性が向上 （現況に比べて約4分短縮）
		主要施設間のアクセス時間（中城港湾～MICE施設）	・速達性が向上 （現況に比べて約7分短縮） （B、C案より短縮）	・速達性が向上 （現況に比べて約6分短縮） （C案より短縮）	・速達性が向上 （現況に比べて約5分短縮）
	交通の円滑化	主要な渋滞箇所（小那覇交差点）の回避	・主要な渋滞箇所を回避	・主要な渋滞箇所を回避	・主要な渋滞箇所が回避できない
		渋滞損失時間注1)	・渋滞損失時間が最も低い （552万人・分/年） （B、C案より低い）	・渋滞損失時間が2番目に高い （2,464万人・分/年） （C案より低い）	・渋滞損失時間が最も高い （3,127万人・分/年）
		国道329号の混雑度注2) （和宇慶地区周辺）	・混雑度が低下 【現況】1.45 ⇒ 【整備後】0.18 （C案より低い）	・混雑度が低下 【現況】1.45 ⇒ 【整備後】0.08 （A、C案より低い）	・混雑度が低下 【現況】1.45 ⇒ 【整備後】1.02 （現況に比べて低下）
		国道329号の混雑度 （小那覇交差点周辺）	・混雑度が低下 【現況】1.34 ⇒ 【整備後】0.40 （C案より低い）	・混雑度が低下 【現況】1.34 ⇒ 【整備後】0.35 （A、C案より低い）	・混雑度が低下 【現況】1.34 ⇒ 【整備後】1.29 （現況に比べて低下）
	災害時に強い道路ネットワークの確保	冠水想定箇所通過数	・冠水想定箇所の通過は無い	・冠水想定箇所の通過は無い	・冠水想定箇所を通過 （2箇所）
道路整備による影響	土地利用・施設・文化財への影響	土地活用など	・将来の土地活用への影響は少ない。	・土地を斜行するため、将来の土地活用（まとまった土地の確保）が困難。 ・企業局（浄水場）への影響が懸念され、事業執行への影響も想定（埋設物の補償費増加）。	・現道の沿道施設への影響（用地買収など）が大きい。
	生活環境への影響	大気質・騒音等	・集落を回避しており、地域の分断や騒音振動等の生活環境への影響が最も小さい。	・集落を回避しているが、一部、現道を拡幅するため、交通量の増加に伴い、沿道施設等に騒音振動等による生活環境の悪化が懸念される。	・交通量の増加に伴い、沿道施設等に騒音振動等による生活環境の悪化が懸念される。
	自然環境への影響	動物の生息地や植物の生育地等	・他案に比べ田園地帯を通過するため、自然環境への影響は最も大きい。 （B、C案より劣る）	・田園地帯の通過は比較的少ないため、自然環境への影響は少ない。 （C案より劣る）	・全線で現道を改良するため、自然環境への影響は最も少ない。
	影響する家屋数	移転などが必要な家屋敷	約50軒（B、C案より少ない）	約130軒	約130軒
	コスト	建設に要する費用	約120億（B、C案より少ない）	約150億円	約140億円（B案より少ない）

注1）渋滞損失時間　：交通渋滞に伴う速度低下により発生する所要時間の損失を表す指標である。
注2）混雑度　：　道路の混み具合を表す指標で、通常1.0を超えた場合、混雑している可能性がある状況を示す。

国道 329 号（中城村～西原町）の道路の計画検討に関するアンケート調査票

ページの内容をご確認頂き、各設問に対し、お答え下さい。

ご回答者についてお聞きします。以下に示す項目について、あてはまる番号を 1 つ選び、回答欄に〇を付けてお答え下さい。なお、「その他」を選んだ場合は「その他」の欄に具体的な内容をご記入下さい。

性別：1. 男性　2. 女性
年齢：1. 10 代　2. 20 代　3. 30 代　4. 40 代　5. 50 代　6. 60 代以上
職業：1. 学生　2. 会社員　3. 公務員　4. 自営業　5. 無職　6. その他（　　）
住所：沖縄県/（　　）市・町・村/字（　　）
運転免許の有無：1. 保有している　2. 保有していない

問 1　国道 329 号の利用頻度

国道 329 号（西原町・中城村）の利用頻度について、あてはまる番号を 1 つ選び、回答欄に〇を付けてお答え下さい。

1. 毎日　2. 週に数回程度　3. 月に数回程度　4. ほとんど利用しない
5. 利用したことがない

問 2　国道 329 号の移動手段

国道 329 号（西原町・中城村）の移動手段について、あてはまる番号を全て選び、回答欄に〇を付けてお答え下さい（複数回答可）。なお、「その他」を選んだ場合は「その他」の欄に具体的な内容をご記入下さい。

1. 自動車　2. バイク　3. 自転車　4. バス　5. 徒歩　6. その他（　　）

問 3　国道 329 号の利用目的

国道 329 号（西原町・中城村）の主な利用目的について、あてはまる番号を全て選び、回答欄に〇を付けてお答え下さい（複数回答可）。なお、「その他」を選んだ場合は「その他」の欄に具体的な内容をご記入下さい。

1. 通勤　2. 通学　3. 通院　4. 私用（日常的な買物・食事等）　5. 仕事（営業・運送）
6. その他（　　）

問 4　道路整備の対応方針に重視する項目

問 4-1：今回、国道 329 号西原町・中城村地区での道路整備を検討する上で、地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視する項目について、あてはまる番号を全て選び、回答欄に〇を付けてお答え下さい（複数回答可）。

1. 物流施設（空港・港湾）・施設間の移動時間が短縮
2. 観光施設までの移動時間が短縮
3. 交通渋滞が解消され、円滑に移動可能
4. 通行止めが発生しても代替道路を利用可能
5. 生活環境（大気・騒音・振動）への影響が少ない
6. 自然環境（動物、植物等）への影響が少ない
7. 道路整備により影響する家屋数が少ない
8. 事業費（コスト）が安い

問 4-2：「問 4-1」で示した項目以外で、地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視する項目があれば、内容を以下の回答欄にできるだけ具体的に記入し、お答え下さい。

問 5　その他のご意見・ご要望

道路整備について、その他にご意見・ご要望がありましたらお答え下さい。

～アンケート調査は以上で終了です。ご理解ご協力頂き、誠に有難うございました～

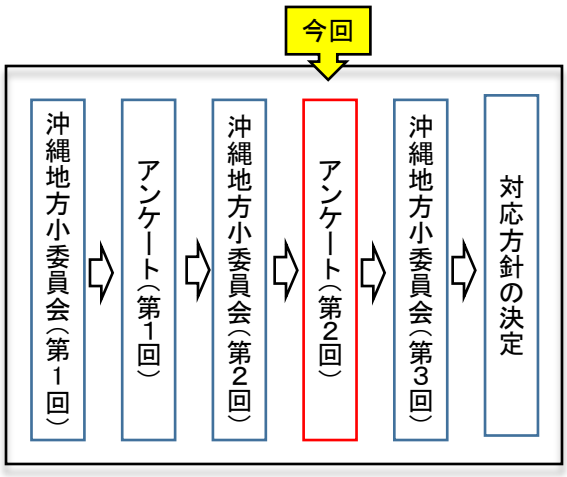
記入済みの調査票は、同封する封筒に入れ、2019 年 7 月 31 日までに、お近くの郵便ポストに投函していただきますよう宜しくお願いします。

■アンケートについて（第２回アンケート）

１）アンケートの目的について

公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、アンケート調査を実施します。

本アンケートは、国道３２９号の様々な課題に対応する計画策定にあたり、地域の皆さまのご意見をお聞かせ頂くための**第２回目**のアンケートとなります。



２）アンケートの回答方法について

◇アンケート調査資料は、対象者に郵送配布しています。
◇世帯のうち代表の方がご回答ください（世帯主である必要はありません）。
◇アンケートご記入の際は、同封する資料をお読みいただきご記入ください。
◇アンケートの回答は郵送による回答とインターネットによる回答があります。

①郵送による回答（調査対象者へ郵送配布する調査票（紙）による回答）

記入済みの調査票は、同封する封筒に入れ、７月３１日までに、お近くの郵便ポストに投函していただきますよう、お願いします。

注）アンケート調査票の配布対象地域は、対象区間の沿線なのか、周辺なのかの違いで分けています。
対象区間の沿線地域（西原町、中城村）には全戸配布、周辺地域（与那原町、北中城村）にはサンプル配布（無作為抽出結果に基づくサンプリング）で実施します。

②インターネットによる回答

チラシ・ポスター掲載のQRコードより

スマートフォン、タブレットをお持ちの方は右記のQRコードからアクセスできます。

南部国道事務所ホームページから

パソコン、スマートフォン、タブレットをお持ちの方は南部国道事務所ホームページより、アンケートページにアクセスしてください。

▼南部国道事務所・アンケートページURL
http://www.dc.ogb.go.jp/nankoku/r1topix/1906nishihara_douro/index.html